

そんなメッセージが、きっと誰かを救います



「ひとりで背負わなくていい」
「頼ってもいいんだよ」

観覧 500名
要申込
入場無料

字幕付き上映

車いす席あり

手話通訳あり
(事業説明のみ)



令和7年

12月12日(金) <2回開催>

1回目 午前11時～午後1時

2回目 午後 3時～午後5時

(開場は各回上映の30分前)

※『猫と私と、もう1人のネコ』上映前に関連した
事業説明を実施します。

ヤングケアラーとは?

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話、
介護などを日常的に行っているこどものこと

会場

阿倍野区民センター
2階大ホール

(大阪市阿倍野区阿倍野筋4丁目19-118)

お問合せ

阿倍野区社会福祉協議会

TEL 6628-1212

FAX 6628-9393

申込方法

締切日: 令和7年11月14日(金)

①電話またはFAX

②二次元コードにて受付

※定員を超えた場合は抽選になります。

二次元コードの
申込はこちら!



※申込は1人1回限りです。1度に3名までお申込みいただけます。

※当選発表は参加証の発送をもってかえさせていただきます。(発送は11月末頃予定)

(当日は必ず当選された参加証ハガキをご持参ください)

※応募時に記入していただいた個人情報(住所等)は抽選終了後、責任をもって破棄いたします。

※当日体調が悪い方のご来場はお控えください。

主催: 阿倍野区社会福祉協議会



ありふれた日常が崩れた中で見つける、自分らしさとは…
突然ヤングケアラーになった女子高生と、そばにいた“猫”の物語。



《ストーリー》

美術部に所属する女子高生 清瀬櫻は、母の環に東京への進学希望を伝えるが、とりあってももらえず…そんな中、久しぶりに父 紘一も揃った楽しい夕食を過ごす。突然母から引っ越しの話が出る。娘の意思を大事にしたい紘一とは対照的に一方的に自分の想いを通そうとする環は、紘一を家から追い出してしまふ。ぎこちない母子生活の中、環が倒れたという連絡が！誰にも言えない気持ちを匿名でSNSに書き込み始める櫻だが、次第に追い詰められて…

《ヤングケアラーとは》

本来大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを日常的に行っている18歳未満の子どものことです。子どもが家事を手伝ったり、家族の世話をすることは、ごく普通ですが、問題なのは、子どもができる範囲を超えて、心身に大きな負担がかかっているということです。本来なら受け取れたはずの勉強に励む時間、部活に打ち込む時間、将来に思いを巡らせる時間、友人との他愛無い時間…これらの「こどもとしての時間」と引き換えに、家事や家族の世話をしているのです。また、本人や家族に自覚がなく、家庭内のデリケートな問題を知られたくないと隠したり、ケアの担い手であることが当たり前の暮らしの中で、それをどう伝えたらよいのか、誰に伝えたらいいのかを悩む子どもたちも多くいます。



《本作品は》

“子どもが子どもらしくいられる街”をみんなでつくっていききたい。周りの人が気づき、声をかけ、手を差し伸べることで「誰かに頼ってもいいんだ」と思えること。それはきっとすべての人が幸せに暮らせる社会をつくる一歩。その一助になればとの思いが込められています。

